

科目名	成人看護Ⅵ (免疫・アレルギー・生殖機能障害の看護・ 放射線診療と看護)				DP1、DP2 DP3、DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 成人看護	時間数	25時間	担当 教員	外部講師・専任教員
科目概要	看護職者として必要な免疫・アレルギー・生殖機能に障害のある患者の治療に伴う看護について学ぶ。						
到達目標	1. 主な免疫・アレルギー・女性生殖器疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1~4	免疫機能障害・アレルギー疾患の看護	アレルギー・膠原病の基礎知識 免疫系のしくみとはたらき、症状とその病態生理 おもな疾患 関節リウマチ、SLE、アナフィラキシーショック 患者の看護 共通する看護、アレルギーをもつ患者の看護、膠原病をもつ患者の看護				講義	外部講師
		感染症・結核患者への看護の目的、特徴、看護の役割、健康レベル別看護、主な症状と看護、検査、治療、処置に伴う看護 おもな感染症 結核、HIV 患者の看護 共通する看護、症状に対する看護、検査・治療を受ける患者の看護、感染症患者の看護					
5~6	生殖機能障害の看護	女性生殖器疾患の基礎知識 女性生殖器のしくみとはたらき、症状とその病態生理、診察および検査				講義	外部講師
7~8		治療および処置、おもな疾患 子宮がん、子宮内膜症、性感染症 (STD/STI)				講義	外部講師
9~10		患者の看護 共通する看護、症状に対する看護、診察・検査を受ける患者、治療・処置を受ける患者の看護、女性生殖器疾患患者の看護				講義	専任教員
11~12	放射線診療と看護	放射線診療 総論 放射線医学と看護、医療に使用される放射線、放射線被曝と放射線防護 放射線診療 各論 X線撮影とCT検査、MRI検査と超音波検査、IVR 核医学、放射線治療				講義	外部講師
13	試験 (1時間)					試験	
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 11 成人看護 [3] 腎・泌尿器 女性生殖器 皮膚 アレルギー・膠原病 感染症 医学書院 新看護学 12 成人看護 [4] 眼 耳鼻咽喉 歯・口腔 [特論]放射線診療と看護 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							